

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	地理
科目基礎情報						
科目番号	0008		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 3		
開設学科	創造工学科 (化学・生物コース)		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	1.5		
教科書/教材	片平博文ほか (2019) 新詳地理B, 帝国書院. 帝国書院編集部編 (2019) 新詳高等地図, 帝国書院.					
担当教員	澤 祥					
到達目標						
世界の人々の暮らしは地域ごとの特徴を持ち、これが自然と人間生活の係わり合いから生まれることを理解できる。「なぜ、その場所に、その様にそのものがなければならぬか」を地理学的に考えられるようになる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	分布をもとに地理的思考ができる		授業内容の基本的事項を理解できる		授業内容の基本的事項を理解できない	
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
(B) 幅広い教養と技術者・研究者としての倫理を身につける。						
教育方法等						
概要	世界の諸地域の自然と社会 (人間生活) を、地名・事項の暗記ではなく、「なぜ、その場所に、その様にそのものがなければならぬか」を考えながら説明・考察する。					
授業の進め方・方法	教員と学生の発問・回答による双方向型授業によって実施する。					
注意点	教員の説明・発問をよく聞くことがポイントである。板書事項だけでなく、教員が話しただけの内容もノートできるようになることを望む。					
事前・事後学習、オフィスアワー						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	地域による生活の違いを考える		地理的な考え方を理解できる	
		2週	生活舞台としての地球		地球の構成が理解できる	
		3週	緯度経度		緯度経度の原理を理解できる	
		4週	時差		時差を理解し時差の操作ができる	
		5週	地形		地形形成の原理を理解できる	
		6週	気候とはなにか		気候の意味が理解できる	
		7週	気候要素		機構三要素：気温・降水量・風に基本を理解できる	
		8週	気候因子 1		気候要素が場所によって変化する理由を理解できる	
	2ndQ	9週	気候因子 2		気候要素が場所によって変化する理由を理解できる	
		10週	ケッペンの気候区分 1		ケッペンの気候区分の原理を理解できる	
		11週	ケッペンの気候区分 2		ケッペンの気候区分の原理を理解できる	
		12週	ケッペンの気候区分 3		ケッペンの気候区分の原理を理解できる	
		13週	世界の気候と人間生活 1		ケッペンの13の気候型を理解できる	
		14週	世界の気候と人間生活 2		ケッペンの13の気候型を理解できる	
		15週	世界の気候と人間生活 3		ケッペンの13の気候型を理解できる	
		16週				
後期	3rdQ	1週	地球環境問題		地球環境問題の基礎を理解できる	
		2週	人種と民族		世界の人種民族紛争の原因を理解できる	
		3週	民族と国家		民族と国家の関係を理解できる	
		4週	ヨーロッパ 1		EUの基本的な事項を理解できる	
		5週	ヨーロッパ 2		EUの基本的な事項を理解できる	
		6週	ヨーロッパ 3		EUの基本的な事項を理解できる	
		7週	ヨーロッパ 4		EUの基本的な事項を理解できる	
		8週	アメリカ 1		新大陸アメリカの意味を理解できる	
	4thQ	9週	アメリカ 2		アメリカ合衆国の誕生を理解できる	
		10週	アメリカ 3		アメリカの人種民族問題を理解できる	
		11週	アメリカ 4		多文化主義の国アメリカ合衆国を理解できる	
		12週	中国 1		中国の現状を理解できる	
		13週	中国 2		中国の現状を理解できる	
		14週	韓国・北朝鮮とロシア		隣国の概要を理解できる	
		15週	ASEAN		ASEANの基本的事項を理解できる	
		16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	自然科学	ライフサイエンス/アースサイエンス	ライフサイエンス/アースサイエンス	太陽系を構成する惑星の中に地球があり、月は地球の衛星であることを説明できる。	3		
				地球は大気と水で覆われた惑星であることを説明できる。	3		
				陸地および海底の大地形とその形成を説明できる。	3		
				地球の内部構造を理解して、内部には何があるか説明できる。	3		
				マグマの生成と火山活動を説明できる。	3		
				地震の発生と断層運動について説明できる。	3		
				地球科学を支えるプレートテクトニクスを説明できる。	3		
				プレート境界における地震活動の特徴とそれに伴う地殻変動などについて説明できる。	3		
				地球上の生物の多様性について説明できる。	3		
				大気圏の構造・成分を理解し、大気圧を説明できる。	3		
				大気の大気収支を理解し、大気の運動を説明できる。	3		
				大気の大循環を理解し、大気中の風の流れなどの気象現象を説明できる。	3		
				海水の運動を理解し、潮流、高潮、津波などを説明できる。	3		
				植生の遷移について説明でき、そのしくみについて説明できる。	3		
				世界のバイオームとその分布について説明できる。	3		
				日本のバイオームの水平分布、垂直分布について説明できる。	3		
				生態系における炭素の循環とエネルギーの流れについて説明できる。	3		
				熱帯林の減少と生物多様性の喪失について説明できる。	3		
				有害物質の生物濃縮について説明できる。	3		
				地球温暖化の問題点、原因と対策について説明できる。	3		
	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3		
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3		
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3		
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3		
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3		
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	10	0	0	100
基礎的能力	70	20	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0